

山梨県固定資産評価審議会 議事録

1 日 時 平成28年2月24日(水) 10時25分～11時15分

2 場 所 県庁防災新館 407会議室

3 出席者(敬称略)

(委員)岡野淳一(代理:古屋俊明)、乙黒功(代理:芦澤徹)、
柏原秀文、黒羽雅子、小林恵、関光良、田中光子、野田岳志、
松野範子、許山敏 (五十音順)

(事務局)市町村課総括課長補佐、税政担当課長補佐、税政担当(3人)

4 会議次第

- (1) 開会
- (2) 委員紹介
- (3) 会長選任
- (4) 会長あいさつ
- (5) 議事
- (6) 閉会

5 議事に付した事案の件名

- (1) 平成28年度固定資産(土地)の提示平均価額(案)について
- (2) その他

6 議事の内容

(1) 平成28年度固定資産(土地)の提示平均価額(案)について

(会長)

はじめに、「平成28年度固定資産(土地)の提示平均価額(案)について」事務局から説明をお願いします。

(事務局)

- 資料1、資料2、資料3により、平成28年度固定資産(土地)の提示平均価額(案)について説明 -

(会長)

事務局からの説明について、質問等はあるか。

(委員)

インバウンド関係で中国からの資本が入ってきているとの説明があったが、北海道等にみられる水資源を求めての需要というものは県内にはあるのか。

(委員)

具体的にはまだない。

今は、スキー場が注目されており、スキーブームが衰退した影響で、野沢温泉など町自体が沈静化したところにオーストラリア等がかなり安い値段で購入し、自国の方々を誘致してスキーを楽しませるといったものがみられる。

(委員)

資料3の3ページに各市町村の田の提示平均価額があるが、富士吉田市の価額が突出して高いが、何か理由はあるのか。

(事務局)

基本的には、取引実例価格を基に、土地の状況の変更によって評価を行ってきているが、富士吉田市内の田や畑については、市街地に点在しているものが多く、山間部にまとまって農地が存在しているものがみられないことによる。

(委員)

富士吉田市の価額の話は4、5年前にも話題に上がったことがあったが、相続税の評価も高くなってしまふ。甲府市と比べてもかなり突出していると感じられるが、いかがか。

(事務局)

取引実例に基づいて価額を決定しているが、農地については、農地転用で宅地化して売買されることは多数あるが、純粹に農地のままの取引はほとんどなく、実態把握も難しい状況にあることから、過去からの価額が据え置かれていると考えられる。

- その他質問等なし -

(会長)

事務局が提示した原案どおりとしてよろしいか。

(各委員)

- 賛意表明 -

(2)その他

(会長)

その他として何かあるか。

(委員・事務局)

特になし。

(会長)

以上をもって議事を終了する。